

本品は水にほとんど溶けなぬ。

屈折率 n_D^{20} : 1.455 ~ 1.467

旋光度 $[\alpha]_D^{20}$: -17.0 ~ -36.0° (100 mm).

比重 d_4^{25} : 0.885 ~ 0.910

酸価 1.0 以下。

純度試験

(1) 溶状 本品 1.0 mL に薄めたエタノール (7 → 10) 3.5 mL を加えて振り混ぜるとき、澄明に溶ける。更にエタノール (95) 10 mL を追加するとき、液は澄明か、又は濁ることがあってもその混濁は次の比較液より濃くない。

比較液: 0.01 mol/L 塩酸 0.70 mL に希硝酸 6 mL 及び水を加えて 50 mL とし、硝酸銀試液 1 mL を加え、5 分間放置する。

(2) 重金属 本品 1.0 mL をとり、第 2 法により操作し、試験を行う。比較液には鉛標準液 4.0 mL を加える (40 ppm 以下)。

定量法 本品約 5.0 g を精密に量り、エタノール (95) に溶かし、正確に 20 mL とする。この液 10 mL を正確に量り、内標準溶液 10 mL を正確に加えて試料溶液とする。別に定量用 *l*-メントール約 10.0 g を精密に量り、エタノール (95) に溶かして正確に 100 mL とする、この液 10 mL を正確に量り、内標準溶液 10 mL を正確に加えて標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 1 μL につき、次の条件でガスクロマトグラフ法により試験を行う。それぞれの液の内標準物質のピーク面積に対するメントールのピーク面積の比 Q_T 及び Q_S を求める。

$$\begin{aligned} & \text{メントール (C}_{10}\text{H}_{20}\text{O) の量 (mg)} \\ & = \text{定量用 } l\text{-メントールの量 (mg)} \times \frac{Q_T}{Q_S} \end{aligned}$$

内標準溶液 *n*-カプリル酸エチルのエタノール (95) 溶液 (4 → 100)

操作条件

検出器: 水素炎イオン化検出器

カラム: 内径約 3 mm, 長さ約 2 m のガラス管に、ガスクロマトグラフ用ポリエチレングリコール 6000 を酸処理した 180 ~ 250 μm のガスクロマトグラフ用ケイソウ土に 25 % の割合で被覆したものを充てんする。

カラム温度: 150 °C 付近の一定温度

キャリアーガス: 窒素

流量: 内標準物質の保持時間が約 10 分になるように調整する。

カラムの選定: 標準溶液 1 μL につき、上記の条件で操作するとき、内標準物質、*l*-メントールの順に流出し、その分離度が 5 以上のものを用いる。

貯法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

乾燥はぶウマ抗毒素

Freeze-dried Habu Antivenom, Equine

乾燥はぶ抗毒素

本品は用時溶解して用いる注射剤で、ウマ免疫グロブリン

中にはぶ抗毒素を含む。

本品は生物学的製剤基準の乾燥はぶウマ抗毒素の条に適合する。

性状 本品は溶剤を加えるとき、無色～淡黄褐色の澄明又はわずかに白濁した液となる。

沈降はぶトキソイド

Adsorbed Habu-venom Toxoid

本品はハブ (*Trimeresurus flavoviridis*) の産する毒性物質をホルムアルデヒド液でその免疫原性をなるべく損なわないうように無毒化して得られたはぶトキソイドを含む液にアルミニウム塩を加えてトキソイドを不溶性とした液状の注射剤である。

本品は生物学的製剤基準の沈降はぶトキソイドの条に適合する。

性状 本品は振り混ぜるとき、均等に白濁する。

ハマボウフウ

Glehnia Root

GLEHNTAE RADIX CUM RHIZOMA

浜防風

本品はハマボウフウ *Glehnia littoralis* Fr.Schmidt ex Miquel (*Umbelliferae*) の根及び根茎である。

性状 本品は円柱形～細長い円すい形を呈し、長 10 ~ 20 cm, 径 0.5 ~ 1.5 cm, 外面は淡黄褐色～赤褐色である。根茎は通例短く、細かい輪節があり、根には縦じわと多数の暗赤褐色のいぼ状の小突起又は横長の隆起がある。本品の質はもろく極めて折りやすい。横切面は白色、粉性で、ルーペ視するとき油道が褐色の小点として散在する。

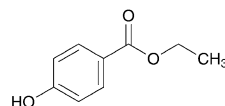
本品は弱いにおいがあり、味はわずかに甘い。

灰分 6.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.5 % 以下。

パラオキシ安息香酸エチル

Ethyl Parahydroxybenzoate



C₉H₁₀O₃: 166.17

Ethyl 4-hydroxybenzoate [120-47-8]

本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸エチル (C₉H₁₀O₃) 99.0 % 以上を含む。

性状 本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、におい及び味はなく、舌を麻ひする。

本品はエタノール (95)、アセトン又はジエチルエーテルに溶けやすく、熱湯にやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。